

平成 20 年 9 月 10 日

習志野市長 荒木 勇 様

習志野市補助金審査委員会
委員長 服部 啓一郎

市民参加型補助金対象事業公開プレゼンテーション結果講評

この市民参加型補助金は、習志野市が協働によるまちづくりを推進するために、本年度から創設した新しい形の補助金です。

これまで行政が主導的に担ってきた公共サービスの領域を、市民団体等にも担っていただく必要性から、その担い手の芽を育てていく仕組みの一つです。

今回の審査にあたりましては、このような市民参加型補助金の創設の背景や経緯、本補助金が市民との協働の観点から公共サービスの新たな担い手を育成することを目的としていることなどを踏まえ、市民の立場から審査を行いました。

今回の募集に関して 20 件に及ぶ応募があったことは喜ばしいことであり、各団体が地域や市民が抱える問題の解決に向けて日々努力されていることに敬服いたしました。

また、申請件数のうち約 3 割の 6 件が特定非営利活動法人からの申請でした。

各団体が行っている活動や事業はすばらしいものばかりで、今後も活動を継続していただきたいと強く感じております。

しかしながら、今回の市民参加型補助金対象事業公開プレゼンテーションでは、既存の補助金を市民の目線で審査し精査した結果から捻出した財源、つまり市民の税金を原資とする補助金の交付に関して審査する使命を負っております。

この観点から提案された事業を見ますと、公益性や自立性、継続性、費用対効果等において、厳正な審査を行わざるを得ませんでした。

審査において論点となったものは次のとおりです。

【公益性】

公益性については、事業の対象者が地域限定であったり、少人数であるなど、限られた対象者の中で事業展開をしようとするものが複数の事業で見られました。公益性は単純に対象者数や参加者数のみで判断されるものではありませんが、より多くの市民が参加できる機会を設けていることが必要と思われます。また、補助事業の効果が及ぶ範囲は、主に習志野市民であることが望ましいと考えます。

【発展性】

発展性では、何より補助事業の実施により、団体の足腰がしっかりし、将来的に自立した活動を行う基盤づくりに提案事業が役立つかが判断を大きく左右しました。

提案事業の多くは、この点を事業計画に盛り込んだものが少なく残念でありました。

自立性という点は、この事業が発展していくために継続していく上で重要な要素となります。本補助金制度を活用したことにより、新規事業の創設や既存事業の拡充が図られ、

新しい公共の担い手が育つことが期待されるとともに、その事業、団体が継続的に活動を続けていくことを期待しているものです。

【費用対効果】

費用対効果においては、習志野市で行われている同種の事業と比較して、事業の内容、効果に対して、経費が過大に計上されている事例が見受けられました。市民の税金を原資としている補助金の交付にあたっては、より効率的、経済的な事業展開が必須となります。

講師謝金については、金額の多寡だけを問題とすることはできませんが、できる限り低く抑えるとともに、謝金が高額になる場合は、それに見合う参加者数を確保するなど、費用対効果に配慮していただきたいと思います。また、補助金の使途の大部分を講師謝金が占めるような事例が見受けられました。

物品の購入にあたっては、物品を購入することで、新たな市民参加や協働を促す工夫が盛り込まれていることが望ましいと思われまます。

【先駆性】

地域の社会的課題を相互扶助の枠を超えて解決しようとする企画、提案がある一方で、既に同種の事業が行政あるいは市民活動団体が実施しているものを、そのまま提案するなど、新たな視点、発想の観点から厳しい評価とならざるをえない事業もありました。

新たな視点、発想からの先駆的な事業提案がなされることを期待します。

【事業内容等】

団体の規模と比較して事業予算が非常に大きく、その実現性に疑問のある提案がありました。団体の規模に合った事業予算とすることが望ましいと思われまます。

一方、本体の会計において多額の繰越金や現金預金を所有する団体が補助金を申請する事例もあり、団体としての自主財源の確保には、一層努力していただきたいと思います。

特に、税金を原資とする補助金であることから、事業収支計画書の記載に当たっては、積算根拠の明確化、正確性が必要であります。

以上、審査結果に対する委員会の意見を申しあげましたが、今後におきましては、募集段階に市民参加型補助金の主旨の徹底を図るとともに、事業要件、団体要件の明確化に務め、市民にわかりやすい制度にするよう改善に務めてください。

また、審査においては、経費節減策や対象の見直し等事業内容について、採択する上で条件を付すことを可能とするなどの改善が必要であると考えまます。